

美術手帖

BT | 2014.03
vol.66 NO.1000

1000号記念
スペシャル
読者
プレゼント!

[永久保存版] 特集

1000th
ISSUE

ANDY WARHOL

アンディ・ウォーホルのABC





「28Chinese」展、王興偉(ワン・シンウェイ)と艾未未の展示風景

してヨーロッパ、時にはアジアにも。友人にはフルタイムの仕事が2つあると話しています(笑)。
— コレクションのスタイルは？
DR コレクションには2000以上の作家の作品が5、6000点あります。予算は意識しませんが、50年以上前から収入の約25パーセントほどを費やしてきましたと思います。ある作家が気に入った

今回のアートフェアでは？
DR 不幸なことに買ってしまっただよ(笑)。知っている作家も少し買って、新しく2人いい作家を見つけたので、アートバーゼルとNADAで買いました。今回のNADAはとてよかったです。フェア

フェア「28Chinese」展

ら、長期的にその作家の作品を買っています。キース・ヘリングは100点以上の作品があります。なかにはジェフ・クーンズのように80年代には買っていたけれども、今は高くなって買えない作家もいます。妻と息子、私が全員同意しないと買わない決まりなんです。私はリサーチ担当で、息子は美術史に強く、妻は一番直感力がありますね。美術館など理事会を通さないと買えない機関よりは早いですが、カタログ、批評、とくに若手作家は本人との会話など、じっくりリサーチをして3人で激しいディスカッションのうえ決定します。

今回のアートフェアでは？
DR 不幸なことに買ってしまっただよ(笑)。知っている作家も少し買って、新しく2人いい作家を見つけたので、アートバーゼルとNADAで買いました。今回のNADAはとてよかったです。フェア

「28Chinese」展について

DR 2001年から計7回中国に行きました。最初はNYで出会った中国人作家が帰国するというので、一緒に行っているいろいろ案内してもらいました。つねにアーティストが最高の情報源です。行くと家族全員、朝の7時から深夜まで美術館、ギャラリーそしてスタジオ

オを回ります。2001年には、艾未未(アイ・ウェイウェイ)と張恒(ジャン・ホアン) 以外にはあまり面白い作家に出会えませんでした。その後、中国のアートを雑誌などで追うようになり、04年頃から若手のいい作家を見つけ始めました。中国の日常を反映した作品だと感じられたんです。

展示会のつくり方は、キュレーションのテーマを決めて、作家や作品を探す方法ではなく、日々作家から作家を追っているうちに、あるまとまりが浮かび上がると、そこから過去のコレクションを見直して企画展に仕立てます。今回も、30歳前後の中国の若手の一群から遡って、彼らに大きな影響を与えた艾未未、黄永祿(ホアン・ヨンビン)、朱金石(チュウ・ジンシ) など50年代生まれの作家を加えました。アメリカのアートシーンでは、中国のアートはそれほど知られていませんから、歴史的背景も伝えたいと考えました。

ルベル・ファミリー



夫のドン(写真右)は医者を経て、妻のメラ(向左)の不動産業に加わる。1990年代には家族でマイアミに引っ越し、東海岸のホテルを中心に不動産業を手がけている。息子のジェイソンもコレクションに深く関わる。娘のジュニアはアーティスト。妻が手がける展覧会オープニングランチでの食事を取り入れた大規模なインスタレーションは毎年マイアミの風物詩となっている。

日々作家から作家を追ううちに、あるまとまりが浮かび上がると、過去のコレクションを見直して企画展に仕立てます。

マ

イアミを代表する世界有数のコレクター、ルベル・ファミリー。AMBに合わせた今回の展覧会は1970年代後半、80年代生まれの中国若手作家を中心とした企画展「28 Chinese」。美術館でドナルド・ルベルに話を聞いた。
— コレクターになつたきっかけは？
DR 1960年代に私が医学

と話すいい口実になるんです。今はどのくらいの時間をコレクションに費やしていますか？
DR 私と妻は毎朝5時に起きて2時間アートについて話します。そのあと1時間テニスをして、オ

フィスに行き普通にフルタイムでホテル業の仕事をして、夜にはまたアートの話をして1日を終わる。また、ひと月に1週間はアートのために他の都市に行きます。NY、LAには毎月のように、そ

Rubell Family



徐震(シュ・ゼン) 帝国の考え方 2011
キャンバスに刺繍、プラスチック 271×353 cm
Produced by Madeln Company
Courtesy of Rubell Family Collection